

C09J 接着剤；接着方法一般の非機械的観点；他に分類されない接着方法；物質の接着剤としての使用(にかわまたはゼラチンの製造C 0 9 H)

注

注 [5]

1 . このサブクラスにおいて下記の用語または表現は，以下に示される意味で用いられる：

・“ 接着剤としての物質の使用 ” は，公知または新規の重合体または製品の使用を意味する；

・“ ゴム ” は，以下を包含する：

a . 天然ジエン系ゴムまたは共役ジエンゴム；

b . ゴム一般(天然ゴムまたは共役ジエンゴム以外の，特別なゴムに関しては，当該特別なゴムの高分子化合物を基礎とする接着剤を包含するグループを参照のこと)；

・“ 基礎とする ” とは，下記注(3)の意味により定義される。

2 . 特別な有機高分子物質を含む接着剤は，含まれる有機高分子物質のみに従ってこのサブクラスに分類し，含まれる非高分子物質は分類に考慮されない。

例：ポリエチレンとアミノプロピトリメトキシランを含有する接着剤はグループC 0 9 J 1 2 3 / 0 6 に分類する。

しかし最低でも1つの重合性炭素 炭素不飽和結合を有する有機非高分子化合物と，グループC 0 9 J 1 5 9 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 8 7 / 0 0 に包含される不飽和重合体以外のプレポリマーまたは重合体との組み合わせを含む接着剤は，その不飽和・非高分子成分に従ってグループ4 / 0 6 に分類する。

例：ポリエチレンおよびスチレンのモノマーを含有する接着剤は，グループC 0 9 J 4 / 0 6 に分類する。 接着剤の物理的性質に関する観点，または引き起こされる効果に関する観点は，それらが特許文献に明確に明示的に述べられている場合，グループC 0 9 J 9 / 0 0 で定義されている通り，このサブクラスにも分類する。

他の特質，例：添加剤，に特徴のある接着剤は，特許文献においてその高分子の成分が特定されていない限り，グループC 0 9 J 1 1 / 0 0 に分類する。

3 . このサブクラスにおいて，2つ以上の高分子の成分から成る接着剤は，最も高い比率で含まれる単一のまたは複数の成分，すなわちその接着剤が基礎とする成分，に従って分類する。その接着剤が，同じ比率で含有する2つ以上の成分を基礎とする場合，その接着剤はそれらの基礎とする成分のそれぞれに従って分類する。

例：ポリエチレン8 0部およびポリ塩化ビニル2 0部を含有する接着剤はグループC 0 9 J 1 2 3 / 0 6 に分類する。ポリエチレン4 0部およびポリ塩化ビニル4 0部を含有する接着剤はグループC 0 9 J 1 2 3 / 0 6 およびC 0 9 J 1 2 7 / 0 6 に分類する。

サブクラス内の索引

サブクラス内の索引

接着剤

無機成分に基づくもの..... 1/00

有機高分子成分に基づくもの..... 101/00-201/00

少なくとも1つの重合性炭素 炭素不飽和結合を有する有機

非高分子化合物に基づくもの.....4/00
物理的性質または生ずる効果.....9/00
その他の特色，例：添加剤.....11/00
接着方法一般；他に分類されない接着方法.....5/00
フィルム状または箔状の接着剤.....7/00

1/00 無機成分に基づく接着剤

1/02 ・水溶性けい酸アルカリ塩を含有するもの

4/00 少なくとも1つの重合性炭素 炭素不飽和結合をもつ有機非高分子化合物に基づく接着剤 [5]

4/02 ・アクリルモノマー [5]

4/04 ・シアノアクリレートモノマー [5]

4/06 ・グループC 0 9 J 1 5 9 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 8 7 / 0 0 の不飽和重合体以外的高分子化合物と組み合わせられたもの [5]

5/00 一般的接着方法；他の分類に規定されない接着方法，例：下塗りに関連するもの

5/02 ・接合面の前処理を含むもの

5/04 ・接合各面に接着成分を別々に適用することを要するもの

5/06 ・適用接着剤の加熱を含むもの

5/08 ・発泡した接着剤を用いるもの

5/10 ・可塑性物質をそう入し，重ね合せた端を溶着させることにより物質を接合するもの

7/00 フィルム状または箔状の接着剤 [2 0 1 8 . 0 1]

注

このメイングループには，多観点分類が適用される。そのため，このサブクラスの2以上のグループに包含される主題事項の観点は，それらのグループのそれぞれに分類されるべきである。

7/10 ・無担体のもの [2 0 1 8 . 0 1]

7/20 ・担体に特徴のあるもの [2 0 1 8 . 0 1]

7/21 ・紙；繊維布 [2 0 1 8 . 0 1]

7/22 ・プラスチック；金属化プラスチック [2 0 1 8 . 0 1]

7/24 ・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる高分子化合物に基づくもの [2 0 1 8 . 0 1]

7/25 ・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外によって得られる高分子化合物に基づくもの [2 0 1 8 . 0 1]

7/26 ・多孔性または海綿状プラスチック [2 0 1 8 . 0 1]

7/28 ・金属シート(金属化プラスチックC 0 9 J 7 / 2 2) [2 0 1 8 . 0 1]

7/29 ・積層化担体(金属化プラスチックC 0 9 J 7 / 2 2) [2 0 1 8 . 0 1]

7/30 ・接着剤組成物に特徴のあるもの [2 0 1 8 . 0 1]

7/32 ・水活性型，例：ゴム引き紙 [2 0 1 8 . 0 1]

7/35	・熱活性型 [2 0 1 8 . 0 1]
7/38	・感圧性接着剤 [2 0 1 8 . 0 1]
7/40	・剥離ライナーに特徴のあるもの [2 0 1 8 . 0 1]
7/50	・担体と接着剤との間のプライマーに特徴のあるもの [2 0 1 8 . 0 1]
9/00	物理的性質または生ずる効果に特徴のある接着剤, 例. スティックのり (C 0 9 J 7 / 0 0 が優先) [5]
9/02	・導電性接着剤 (生体内での治療または検査で使用する導電剤 A 6 1 K 5 0 / 0 0) [5]
11/00	グループ C 0 9 J 9 / 0 0 に分類されない接着剤の特徴, 例. 添加剤 [5]
11/02	・非高分子添加剤 [5]
11/04	・無機物 [5]
11/06	・有機物 [5]
11/08	・高分子添加剤 [5]

多糖類またはその誘導体に基づく接着剤 [5]

注

(1) グループ C 0 9 J 1 0 1 / 0 0 から C 0 9 J 2 0 1 / 0 0 においては, サブクラス C 0 9 J の注 (3) に従った分類によって特定はされないが, その使用法が新規かつ非自明と判断される接着剤組成物の高分子成分は, C 0 9 J 1 0 1 / 0 0 から C 0 9 J 2 0 1 / 0 0 のグループから選択したグループに分類しなければならない。 [8]

(2) サブクラス C 0 9 J の注 (3) または上記注 (1) に従った分類によっては特定されないが, 検索に有用な情報を表していると思われる接着剤組成物の高分子成分は, C 0 9 J 1 0 1 / 0 0 から C 0 9 J 2 0 1 / 0 0 のグループから選択したグループに分類してもよい。例えばこれは, 分類記号の組合せを用いた高分子成分の検索が可能となることが重要であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分类は, “ 付加情報 ” として付与される。 [8]

101/00	セルロース, 変性セルロースまたはセルロース誘導体に基づく接着剤 [5]
101/02	・セルロース; 変性セルロース [5]
101/04	・酸化セルロース; ヒドロセルロース [5]
101/06	・水和セルロース [5]
101/08	・セルロース誘導体 [5]
101/10	・有機酸のエステル (有機酸と無機酸の両方のもの C 0 9 J 1 0 1 / 2 0) [5]
101/12	・酢酸セルロース [5]
101/14	・混合エステル, 例. 酢酸酪酸セルロース [5]
101/16	・無機酸のエステル (有機酸と無機酸の両方のもの C 0 9 J 1 0 1 / 2 0) [5]
101/18	・硝酸セルロース [5]
101/20	・有機酸と無機酸の混合エステル [5]
101/22	・セルロースゼンテート [5]
101/24	・ビスコース [5]
101/26	・セルロースエーテル [5]

101/28	・アルキルエーテル [5]
101/30	・アリルエーテル; アラルキルエーテル [5]
101/32	・セルロースエーテルエステル [5]
103/00	でん粉, アミロース, もしくはアミロペクチンまたはそれらの誘導体もしくは分解生成物に基づく接着剤 [5]
103/02	・でん粉; その分解生成物, 例. デキストリン [5]
103/04	・でん粉誘導体 [5]
103/06	・エステル [5]
103/08	・エーテル [5]
103/10	・酸化でん粉 [5]
103/12	・アミロース; アミロペクチン; それらの分解生成物 [5]
103/14	・アミロース誘導体; アミロペクチン誘導体 [5]
103/16	・エステル [5]
103/18	・エーテル [5]
103/20	・酸化アミロース; 酸化アミロペクチン [5]
105/00	グループ C 0 9 J 1 0 1 / 0 0 または C 0 9 J 1 0 3 / 0 0 に属さない多糖類またはその誘導体に基づく接着剤 [5]
105/02	・デキストラン; その誘導体 [5]
105/04	・アルギン酸; その誘導体 [5]
105/06	・ペクチン; その誘導体 [5]
105/08	・キチン; コンドロイチン硫酸; ヒアルロン酸; それらの誘導体 [5]
105/10	・ヘパリン; その誘導体 [5]
105/12	・寒天; その誘導体 [5]
105/14	・ヘミセルロース; その誘導体 [5]
105/16	・シクロデキストリン; その誘導体 [5]

ゴムまたはその誘導体に基づく接着剤 [5]

107/00	天然ゴムに基づく接着剤 [5]
107/02	・ラテックス [5]
109/00	共役ジエン炭化水素の単独重合体または共重合体に基づく接着剤 [5]
109/02	・アクリロニトリルとの共重合体 [5]
109/04	・ラテックス [5]
109/06	・スチレンとの共重合体 [5]
109/08	・ラテックス [5]
109/10	・ラテックス (C 0 9 J 1 0 9 / 0 4 , C 0 9 J 1 0 9 / 0 8 が優先) [5]
111/00	クロロプレンの単独重合体または共重合体に基づく接着剤 [5]
111/02	・ラテックス [5]
113/00	カルボキシル基を含有するゴムに基づく接着剤 [5]
113/02	・ラテックス [5]
115/00	ゴムの誘導体に基づく接着剤 (C 0 9 J 1

- 1 1 / 0 0 , C 0 9 J 1 1 3 / 0 0 が優先)
[5]
- 115/02 ・ハロゲンを含有するゴム誘導体 [5]
- 117/00 再生ゴムに基づく接着剤 [5]
- 119/00 グループ C 0 9 J 1 0 7 / 0 0 ~ C 0 9 J
1 1 7 / 0 0 に属さないゴムに基づく接着
剤 [5]
- 119/02 ・ラテックス [5]
- 121/00 特定化されていないゴムに基づく接着剤
[5]
- 121/02 ・ラテックス [5]

炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応により
得られる高分子化合物に基づく接着剤 [5]

注

(1)グループ 1 2 3 / 0 0 ~ 1 4 9 / 0 0 においては, 下記
の用語は以下に示す意味で用いる : [8]

” 脂肪族基 ” という語は, 次の (a) ~ (c) に対する各結
合によって停止されているとみられる非環式または非芳香族
炭素環式の炭素骨格を意味する : [8]

(a) 炭素以外の元素 ; [8]

(b) 炭素以外の 1 個の原子に対する二重結合を持つ炭素原
子 ; [8]

(c) 芳香族炭素環または複素環 [8]

(2)グループ 1 2 3 / 0 0 ~ 1 4 9 / 0 0 においては, 相反
する指示がない限り, 共重合体は主成分の単量体に基づいて分
類する。[8]

- 123/00 ただ 1 個の炭素 炭素二重結合を有する不
飽和脂肪族炭化水素の単独重合体または共
重合体に基づく接着剤 ; そのような重合体
の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 123/02 ・化学的な後処理により変性されていない
もの [5]
- 123/04 ・・エテンの単独重合体または共重合体 [2
0 0 6 . 0 1]
- 123/06 ・・・ポリエチレン [2 0 0 6 . 0 1]
- 123/08 ・・・エテンの共重合体 (C 0 9 J 1 2 3
/ 1 6 が優先) [2 0 0 6 . 0 1]
- 123/10 ・・プロペンの単独重合体または共重合体
[5]
- 123/12 ・・・ポリプロペン [5]
- 123/14 ・・・プロペンの共重合体 (C 0 9 J 1 2
3 / 1 6 が優先) [5]
- 123/16 ・・エチレン プロピレン共重合体, また
はエチレン プロピレン ジエン共重合
体 [2 0 0 6 . 0 1]
- 123/18 ・・4 以上の炭素原子を有する炭化水素の
単独重合体または共重合体 [5]
- 123/20 ・・・炭素数が 4 ~ 9 のもの [5]
- 123/22 ・・・・イソブテンの共重合体 ; ブチルゴ
ム [5]
- 123/24 ・・・炭素数が 1 0 以上のもの [5]
- 123/26 ・化学的な後処理によって変性されたもの

- [5]
- 123/28 ・・ハロゲンまたはハロゲン含有化合物と
の反応による (C 0 9 J 1 2 3 / 3 2 が
優先) [5]
- 123/30 ・・酸化による [5]
- 123/32 ・・りん含有化合物またはいおう含有化合
物との反応による [5]
- 123/34 ・・・クロロスルホン化によるもの [5]
- 123/36 ・・窒素含有化合物との反応, 例 . ニトロ
化による [5]
- 125/00 ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する
1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, その少
なくとも 1 つが芳香族炭素環によって停止
されている化合物の単独重合体または共重
合体に基づく接着剤 ; そのような重合体の
誘導体に基づく接着剤 [5]
- 125/02 ・炭化水素の単独重合体または共重合体
[5]
- 125/04 ・・スチレンの単独重合体または共重合体
[5]
- 125/06 ・・・ポリスチレン [5]
- 125/08 ・・・スチレンの共重合体 (C 0 9 J 1 2
9 / 0 8 , C 0 9 J 1 3 5 / 0 6 , C 0
9 J 1 5 5 / 0 2 が優先) [5]
- 125/10 ・・・・共役ジエンとの [5]
- 125/12 ・・・・不飽和二トリルとの [5]
- 125/14 ・・・・不飽和エステルとの [5]
- 125/16 ・・アルキル置換スチレンの単独重合体ま
たは共重合体 [5]
- 125/18 ・炭素および水素以外の元素を含有する芳
香族単量体の単独重合体または共重合体
[5]
- 127/00 ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する
1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, その少
なくとも 1 つがハロゲンによって停止され
ている化合物の単独重合体または共重合体
に基づく接着剤 ; そのような重合体の誘導
体に基づく接着剤 [5]
- 127/02 ・化学的な後処理によって変性されていない
もの [5]
- 127/04 ・・塩素原子を含有するもの [5]
- 127/06 ・・・塩化ビニルの単独重合体または共重
合体 [5]
- 127/08 ・・・塩化ビニリデンの単独重合体または
共重合体 [5]
- 127/10 ・・臭素原子またはよう素原子を含有する
もの [5]
- 127/12 ・・ふっ素を含有するもの [5]
- 127/14 ・・・ふっ化ビニルの単独重合体または共
重合体 [5]
- 127/16 ・・・ふっ化ビニリデンの単独重合体また
は共重合体 [5]
- 127/18 ・・・テトラフルオロエテンの単独重合体

	または共重合体 [2 0 0 6 . 0 1]		
127/20	・ ・ ・ ヘキサフルオロプロペンの単独重合体または共重合体 [5]		たはその塩，無水物，エステル，アミド，イミドまたはそのニトリルの単独重合体または共重合体に基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
127/22	・ 化学的な後処理によって変性されたもの [5]	133/02	・ 酸の単独重合体または共重合体；その金属塩またはアンモニウム塩 [5]
127/24	・ ・ ハロゲン化されたもの [5]	133/04	・ エステルの単独重合体または共重合体 [5]
129/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する，1 個以上の不飽和脂肪族基をもち，その少なくとも一つがアルコール，エーテル，アルデヒド，ケトン，アセタールまたはケタール基によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤；不飽和アルコールと飽和カルボン酸とのエステルの重合体を加水分解したものにに基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]	133/06	・ ・ 炭素，水素および酸素のみを含有し，しかもその酸素はカルボキシル基の一部としてのみ存在するエステルの [5]
129/02	・ 不飽和アルコールの単独重合体または共重合体 (C 0 9 J 1 2 9 / 1 4 が優先) [5]	133/08	・ ・ ・ アクリル酸エステルの単独重合体または共重合体 [5]
129/04	・ ・ ポリビニルアルコール；不飽和アルコールと飽和カルボン酸とのエステルの単独重合体または共重合体の部分加水分解物 [5]	133/10	・ ・ ・ メタクリル酸エステルの単独重合体または共重合体 [5]
129/06	・ ・ アリルアルコールの共重合体 [5]	133/12	・ ・ ・ メチルメタクリレートの単独重合体または共重合体 [5]
129/08	・ ・ ・ ビニル芳香族単量体との [5]	133/14	・ ・ ハロゲン，窒素，硫黄またはカルボキシル基の酸素以外の酸素を含有するエステルの [5]
129/10	・ 不飽和エーテルの単独重合体または共重合体 (C 0 9 J 1 3 5 / 0 8 が優先) [5]	133/16	・ ・ ・ ハロゲン原子を含有するエステルの単独重合体または共重合体 [5]
129/12	・ 不飽和ケトンの単独重合体または共重合体 [5]	133/18	・ ニトリルの単独重合体または共重合体 [5]
129/14	・ 不飽和アセタールまたはケタールの重合によって，または不飽和アルコールの重合体の後処理によって得られるアセタールまたはケタールの単独重合体または共重合体 [5]	133/20	・ ・ アクリロニトリルの単独重合体または共重合体 (C 0 9 J 1 5 5 / 0 2 が優先) [5]
131/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち，その少なくとも 1 つが飽和カルボン酸の炭酸のまたはハロギン酸のアシロキシ基によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤 (加水分解重合体に基づくもの C 0 9 J 1 2 9 / 0 0)；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]	133/22	・ ・ 4 個以上の炭素原子を含有するニトリルの単独重合体または共重合体 [5]
131/02	・ モノカルボン酸のエステルの単独重合体または共重合体 [5]	133/24	・ アミドまたはイミドの単独重合体または共重合体 [5]
131/04	・ ・ 酢酸ビニルの単独重合体または共重合体 [5]	133/26	・ ・ アクリルアミドまたはメタクリルアミドの単独重合体または共重合体 [5]
131/06	・ 多価カルボン酸のエステルの単独重合体または共重合体 [5]	135/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち，その少なくとも 1 つがカルボキシル基によって停止されており，そして分子中に少なくとも 1 個の他のカルボキシル基をもつ化合物，その塩，無水物，エステル，アミド，イミドもしくはニトリルの単独重合体または共重合体に基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
131/08	・ ・ フタル酸の [5]	135/02	・ エステルの単独重合体または共重合体 (C 0 9 J 1 3 5 / 0 6 , C 0 9 J 1 3 5 / 0 8 が優先) [5]
133/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち，そのうちただ 1 つの脂肪酸がただ 1 つのカルボキシル基によって停止されている化合物，ま	135/04	・ ニトリルの単独重合体または共重合体 (C 0 9 J 1 3 5 / 0 6 , C 0 9 J 1 3 5 / 0 8 が優先) [5]
		135/06	・ ビニル芳香族単量体との共重合体 [5]
		135/08	・ ビニルエーテルとの共重合体 [5]
		137/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち，その少なくとも 1 つが酸素含有複素環によって停

- 止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤（多官能性の酸の環状エステル）の C 0 9 J 1 3 1 / 0 0 ; 不飽和酸の環状無水物の C 0 9 J 1 3 5 / 0 0); そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 139/00 ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、その少なくとも 1 つが窒素に対する単結合もしくは二重結合または窒素含有複素環により停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤; そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 139/02 ・ビニルアミンの単独重合体または共重合体 [5]
- 139/04 ・窒素含有複素環を有する単量体の単独重合体または共重合体 [5]
- 139/06 ・・N ビニル ピロリドンの単独重合体または共重合体 [5]
- 139/08 ・・ビニル ピリジンの単独重合体または共重合体 [5]
- 141/00 ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、その少なくとも 1 つがいおうに対する結合またはいおう含有複素環によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤; そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 143/00 ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、ほう素、けい素、りん、セレン、テルルまたは金属を含有する化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤; そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 143/02 ・りん含有単量体の単独重合体または共重合体 [5]
- 143/04 ・けい素含有単量体の単独重合体または共重合体 [5]
- 145/00 側鎖に不飽和脂肪族基をもたず、炭素環または複素環系に 1 個以上の炭素 炭素二重結合をもつ化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤; そのような重合体の誘導体に基づく接着剤（多官能性酸の環状エステル）の C 0 9 J 1 3 1 / 0 0 ; 環状無水物またはイミドの C 0 9 J 1 3 5 / 0 0) [5]
- 145/02 ・クマロン インデン重合体の [5]
- 147/00 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、少なくともその 1 つが 2 個以上の炭素 炭素二重結合をもつ化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤; そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 (C 0 9 J 1 4 5 / 0 0 が優先; 共役ジエンゴムに基づくもの C 0 9 J 1 0 9 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 2 1 / 0 0) [5]
- 149/00 1 個以上の炭素 炭素三重結合をもつ化合物の単独重合体または共重合体に基づく接着剤; そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 151/00 グラフト成分が炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られるグラフト重合体に基づく接着剤 (A B S 重合体に基づくもの C 0 9 J 1 5 5 / 0 2); そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 151/02 ・多糖類にグラフトされた [5]
- 151/04 ・ゴムにグラフトされた [5]
- 151/06 ・ただ 1 個の炭素 炭素二重結合を含有する脂肪族炭化水素の単独重合体または共重合体にグラフトされた [5]
- 151/08 ・不飽和炭素 炭素結合のみが関与する以外の反応によって得られる高分子化合物にグラフトされた [5]
- 151/10 ・無機質材料にグラフトされた [5]
- 153/00 炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる重合体の連鎖を少なくとも 1 個含有するブロック共重合体に基づく接着剤; そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 153/02 ・ビニル芳香族単量体及び共役ジエンの [5]
- 155/00 グループ C 0 9 J 1 2 3 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 5 3 / 0 0 に属さない炭素 炭素不飽和結合のみが関与する重合反応によって得られる単独重合体または共重合体に基づく接着剤 [5]
- 155/02 ・A B S [アクリロニトリルブタジエン スチレン] 重合体 [5]
- 155/04 ・ジエン合成によって得られるポリ付加物 [5]
- 157/00 炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる不特定重合体に基づく接着剤 [5]
- 157/02 ・鉱油炭化水素の共重合体 [5]
- 157/04 ・単量体の少量成分のみが示された共重合体 [5]
- 157/06 ・炭素および水素以外の元素を含む単独重合体または共重合体 [5]
- 157/08 ・・ハロゲン原子を含むもの [5]
- 157/10 ・・酸素原子を含むもの [5]
- 157/12 ・・窒素原子を含むもの [5]
- 炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物に基づく接着剤 [5]
- 159/00 ポリアセタールに基づく接着剤; ポリアセ

- タールの誘導体に基づく接着剤 [5]
- 159/02 ・ポリオキシメチレン連鎖のみを含むポリ
アセタール [5]
- 159/04 ・ポリオキシメチレン共重合体 [5]
- 161/00 アルデヒドまたはケトンの重縮合体に基づ
く接着剤 (ポリアルコールとの C 0 9 J 1
5 9 / 0 0 ; ポリニトリルとの C 0 9 J 1
7 7 / 0 0); そのような重合体の誘導体に
基づく接着剤 [5]
- 161/02 ・アルデヒドまたはケトンのみの重縮合体
[5]
- 161/04 ・アルデヒドまたはケトンとフェノールの
みとの重縮合体 [5]
- 161/06 ・・アルデヒドとフェノールとの [5]
- 161/08 ・・一価のフェノールとの [5]
- 161/10 ・・・フェノール ホルムアルデヒド重
縮合体 [5]
- 161/12 ・・・多価フェノールとの [5]
- 161/14 ・・変性フェノール アルデヒド重縮合
体 [5]
- 161/16 ・・ケトンとフェノールとの [5]
- 161/18 ・アルデヒドまたはケトンと芳香族炭化水
素またはそのハロゲン誘導体のみとの重
縮合体 [5]
- 161/20 ・アルデヒドまたはケトンと窒素に結合し
た水素を含む化合物のみとの重縮合体
(アミノフェノールとの C 0 9 J 1 6 1
/ 0 4) [5]
- 161/22 ・・アルデヒドと非環式または炭素環式化
合物との [5]
- 161/24 ・・・尿素またはチオ尿素との [5]
- 161/26 ・・アルデヒドと複素環式化合物との [5]
- 161/28 ・・・メラミンとの [5]
- 161/30 ・・アルデヒドと複素環式及び非環式また
は炭素環式化合物との [5]
- 161/32 ・・変性アミン アルデヒド重縮合体 [5]
- 161/34 ・アルデヒドまたはケトンとグループ C 0
9 J 1 6 1 / 0 4 , C 0 9 J 1 6 1 / 1
8 および C 0 9 J 1 6 1 / 2 0 のうち少
なくとも 2 つに属する単量体との重縮合
体 [5]
- 163/00 エポキシ樹脂に基づく接着剤; エポキシ樹
脂の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 163/02 ・ビスフェノールのポリグリシジルエーテ
ル [5]
- 163/04 ・エポキシノボラック [5]
- 163/06 ・トリグリシジルイソシアヌレート [5]
- 163/08 ・エポキシ化ポリエン重合体 [5]
- 163/10 ・不飽和化合物で変性されたエポキシ樹脂
[5]

注

注

相反する指示がない限り, グループ C 0 9 J 1 6 5 / 0 0 ~ C

0 9 J 1 8 5 / 0 0 において, 主鎖に 2 種の異なる結合を形成
する反応によって得られる高分子化合物に基づく接着剤は, 多
量に存在する結合にしたがってのみ分類される。 [5]

- 165/00 主鎖に炭素 炭素結合を形成する反応によ
って得られる高分子化合物に基づく接着剤
(C 0 9 J 1 0 7 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 5 7
/ 0 0 , C 0 9 J 1 6 1 / 0 0 が優先); そ
のような重合体の誘導体に基づく接着剤
[5]
- 165/02 ・ポリフェニレン [5]
- 165/04 ・ポリキシリレン [5]
- 167/00 主鎖にカルボン酸エステル結合を形成する
反応によって得られるポリエステルに基づ
く接着剤 (ポリエステル アミドの C 0 9
J 1 7 7 / 1 2 , ポリエステル イミドの
C 0 9 J 1 7 9 / 0 8); そのような重合体
の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 167/02 ・ジカルボン酸とジヒドロキシ化合物から
誘導されたポリエステル (C 0 9 J 1 6
7 / 0 6 が優先) [5]
- 167/03 ・・芳香環に直接結合した水酸基およびカ
ルボキシル基をもつジカルボン酸および
ジヒドロキシ化合物 [5]
- 167/04 ・ヒドロキシカルボン酸, 例, ラクトンよ
り誘導されたポリエステル (C 0 9 J 1
6 7 / 0 6 が優先) [5]
- 167/06 ・炭素 炭素不飽和結合をもつ不飽和ポリ
エステル [5]
- 167/07 ・・末端炭素 炭素不飽和結合をもつもの
[5]
- 167/08 ・高級脂肪油またはその酸により, または
天然樹脂または樹脂酸により変性された
ポリエステル [5]
- 169/00 ポリカーボネートに基づく接着剤; ポリカ
ーボネートの誘導体に基づく接着剤 [5]
- 171/00 主鎖にエーテル結合を形成する反応によ
って得られるポリエーテルに基づく接着剤
(ポリアセタールに基づくもの C 0 9 J 1
5 9 / 0 0 ; エポキシ樹脂に基づくもの C
0 9 J 1 6 3 / 0 0 ; ポリチオエーテル
エーテルに基づくもの C 0 9 J 1 8 1 / 0
2 ; ポリエーテルスルホンに基づくもの C
0 9 J 1 8 1 / 0 6); そのような重合体の
誘導体に基づく接着剤 [5]
- 171/02 ・ポリアルキレンオキシド [5]
- 171/03 ・・ポリエビハロヒドリン [5]
- 171/08 ・ヒドロキシ化合物またはその金属誘導体
から誘導されるポリエーテル (C 0 9 J
1 7 1 / 0 2 が優先) [5]
- 171/10 ・・フェノールから誘導されるもの [5]
- 171/12 ・・・ポリフェニレンオキシド [5]
- 171/14 ・・フルフリルアルコール重合体 [5]

- 173/00 グループC 0 9 J 1 5 9 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 7 1 / 0 0 に属さない主鎖に酸素または酸素および炭素を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 173/02 ・ポリ酸無水物 [5]
- 175/00 ポリ尿素またはポリウレタンに基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 175/02 ・ポリ尿素 [5]
- 175/04 ・ポリウレタン [5]
- 175/06 ・・ポリエステルからのもの [5]
- 175/08 ・・ポリエーテルからのもの [5]
- 175/10 ・・ポリアセタールからのもの [5]
- 175/12 ・・窒素および活性水素を含み該窒素原子がイソシアネート基の一部でない化合物からのもの [5]
- 175/14 ・・炭素 炭素不飽和結合をもつポリウレタン [5]
- 175/16 ・・炭素 炭素不飽和結合を末端にもつもの [5]
- 177/00 主鎖にカルボン酸アミド結合を形成する反応により得られるポリアミドに基づく接着剤 (ポリヒドラジド C 0 9 J 1 7 9 / 0 6 ; ポリアミド イミド C 0 9 J 1 7 9 / 0 8); そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 177/02 ・ アミノカルボン酸またはそのラクタムから誘導されたポリアミド (C 0 9 J 1 7 7 / 1 0 が優先) [5]
- 177/04 ・ アミノカルボン酸から誘導されたポリアミド (C 0 9 J 1 7 7 / 1 0 が優先) [5]
- 177/06 ・ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されたポリアミド (C 0 9 J 1 7 7 / 1 0 が優先) [5]
- 177/08 ・・ポリアミンおよび重合不飽和脂肪酸からのもの [5]
- 177/10 ・アミノカルボン酸またはポリアミンおよびポリカルボン酸の芳香族結合アミノ基および芳香族結合カルボキシル基から誘導されたポリアミド [5]
- 177/12 ・ポリエステル アミド [5]
- 179/00 グループC 0 9 J 1 6 1 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 7 7 / 0 0 に属さない、主鎖のみに酸素または炭素を含みまたは含まずに窒素を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づく接着剤 [5]
- 179/02 ・ポリアミン [5]
- 179/04 ・主鎖に窒素含有複素環を有する重縮合体；ポリヒドラジド；ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [5]
- 179/06 ・・ポリヒドラジド；ポリトリアゾール；ポリアミノトリアゾール；ポリオキサジアゾール [5]
- 179/08 ・・ポリイミド；ポリエステル イミド；ポリアミド イミド；ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [5]
- 181/00 主鎖のみに、窒素，酸素または炭素を含みまたは含まずにいおうを含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づく接着剤；ポリスルホンに基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 181/02 ・ポリチオエーテル；ポリチオエーテルエーテル [5]
- 181/04 ・ポリスルフィド [5]
- 181/06 ・ポリスルホン；ポリエーテルスルホン [5]
- 181/08 ・ポリスルホネート [5]
- 181/10 ・ポリスルホンアミド；ポリスルホンイミド [5]
- 183/00 主鎖のみに、いおう，窒素，酸素または炭素を含みまたは含まずにけい素を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 183/02 ・ポリシリケート [5]
- 183/04 ・ポリシロキサン [5]
- 183/05 ・・水素と結合したけい素を含むもの [5]
- 183/06 ・・酸素含有基に結合したけい素を含むもの (C 0 9 J 1 8 3 / 1 2 が優先) [5]
- 183/07 ・・不飽和脂肪族基に結合したけい素を含むもの [5]
- 183/08 ・・炭素，水素および酸素以外の原子を含む有機基に結合したけい素を含むもの [5]
- 183/10 ・ポリシロキサン連鎖を含むブロックまたはグラフト共重合体 (ポリシロキサンに炭素 炭素二重結合をもつ化合物を重合することによって得られるもの C 0 9 J 1 5 1 / 0 8 , C 0 9 J 1 5 3 / 0 0) [5]
- 183/12 ・・ポリエーテル連鎖を含むもの [5]
- 183/14 ・少なくとも二個だが全てではないけい素原子が酸素原子以外の結合によって結合されているもの [5]
- 183/16 ・すべてのけい素原子が酸素原子以外の結合によって結合されているもの [5]
- 185/00 主鎖に、けい素，いおう，窒素，酸素および炭素以外の原子を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づく接着剤；そのような重合体の誘導体に基づく接着剤 [5]
- 185/02 ・りんを含むもの [5]
- 185/04 ・ほう素を含むもの [5]

C 0 9 J

- 187/00 炭素 炭素不飽和結合のみが関与する重合
反応以外の反応によって得られる不特定高
分子化合物に基づく接着剤 [5]

天然高分子化合物またはその誘導体に基づく接着 剤 [5]

- 189/00 蛋白質に基づく接着剤；その誘導体に基づ
く接着剤 [5]
- 189/02 ・カゼイン アルデヒド縮合物 [5]
- 189/04 ・廃材料，例．角，ひづめまたは毛髪から
誘導されるもの [5]
- 189/06 ・皮革または皮膚から誘導されるもの [5]
- 191/00 油，脂肪またはワックスに基づく接着剤，
その誘導体に基づく接着剤 [5]
- 191/02 ・加硫油，例．ファクチス [5]
- 191/04 ・リノキシン [5]
- 191/06 ・ワックス [5]
- 191/08 ・ミネラルワックス [5]
- 193/00 天然樹脂に基づく接着剤；その誘導体に基づ
く接着剤（多糖類に基づくもの C 0 9 J
1 0 1 / 0 0 ~ C 0 9 J 1 0 5 / 0 0 ；天
然ゴムに基づくもの C 0 9 J 1 0 7 / 0
0) [5]
- 193/02 ・シェラック [5]
- 193/04 ・ロジン [5]
- 195/00 瀝青質材料，例．アスファルト，タールま
たはピッチに基づく接着剤 [5]
- 197/00 リグニン含有材料に基づく接着剤（多糖類
に基づくもの C 0 9 J 1 0 1 / 0 0 ~ C 0
9 J 1 0 5 / 0 0) [5]
- 197/02 ・リグノセルロース材料，例．木材，麦わ
らまたはバガス [5]
- 199/00 グループ C 0 9 J 1 0 1 / 0 0 ~ C 0 9 J
1 0 7 / 0 0 または C 0 9 J 1 8 9 / 0 0
~ C 0 9 J 1 9 7 / 0 0 に属さない天然高
分子化合物またはその誘導体に基づく接着
剤 [5]
- 201/00 不特定の高分子化合物に基づく接着剤 [5]
- 201/02 ・特定の基の存在によって特徴づけられる
もの [5]
- 201/04 ・ハロゲン原子を含むもの [5]
- 201/06 ・酸素原子を含むもの [5]
- 201/08 ・カルボキシル基 [5]
- 201/10 ・加水分解可能なシラン基を含むもの [5]